

# 宮沢賢治の科学観

『言葉の流星群』 池澤夏樹、角川文庫、2003年、68頁

“ケンジさんの科学は目の前の自然から始まっている”

紙の上の理論より感覚で自然の質感を知る

土の触感、匂い

石の形、重さ、艶、色

季節ごとの山の植物の姿

自在にスケールを変えることができる

花巻郊外の野原から小岩井農場

岩手山の頂上や北上山地の上空

そして銀河系の果てまでも行く

水平思考

# 宮沢賢治の宇宙観



賢治の作品を  
読み解くのは**難しい**

だから、賢治の作品を  
読み解く**試みは楽しい**

# 宮沢賢治の宇宙観

## 動的平衡

細胞が生まれる  $\Leftrightarrow$  細胞が死ぬ

これら二つの過程が釣り合う

人は全体としては変化しないように見える

しかし、人は常に変化している！